

東北屈指の総合建設企業が クラウド型のシステムで 迅速な決断と業務の効率化を促進



株式会社タカヤは『SMILE V Air 人事給与』と『eValue V Air 総合』を活用して、社内業務を効率的に回している

株式会社タカヤは2030年に創業100年を迎える総合建設企業だ。岩手県を中心に、環境建設(土木)事業、建築事業、住宅事業などを幅広く展開している。社内でのサーバー管理が不要なクラウドサービスである『SMILE V Air 人事給与』『eValue V Air 総合』を利用して、全社員が業務のデジタル化を促進。事業の決断の早さに磨きをかけている。さらに、『タイムスタンプオプション』を利用して電子帳簿保存法の改正にも柔軟に対応している。

導入の狙い

- ・申請・承認業務の効率化を促進したい
- ・社内でサーバーを運用管理する手間を省きたい
- ・電子帳簿保存法に対応したい

導入システム

- ・基幹業務システム
『SMILE V Air 人事給与』
- ・統合型グループウェア
『eValue V Air 総合』
『タイムスタンプ オプション』

導入効果

- ・承認ルートや同報機能で柔軟な設定ができる
- ・社内文書をしっかりと版管理できるようになった
- ・社内コミュニケーションの活性化
- ・給与業務の時間短縮とコスト削減

USER PROFILE

株式会社タカヤ

【業種】総合建設業

【事業内容】建築、環境建設、住宅、リノベーション、不動産事業

【従業員数】206名(2023年12月現在)



2024年5月取材

工場建設のトータルサービスで 働きやすい環境づくりを支援

1930年に岩手県北上市で創業された株式会社タカヤは、間もなく100周年を迎える歴史ある企業だ。東北屈指の売り上げを誇る総合建設企業である同社は、新たな市場開拓を目的として東京に進出。現在は盛岡と東京の2本社制で、環境建設(土木)事業、建築事業、住宅事業を3本柱として広範囲に事業を展開している。さらに、リノベーション事業や不動産事業も手掛け、2016年には、四国支店、高知営業所を開設した。

東日本大震災の災害復旧工事などの公共工事が高く評価された同社は、2023年度の優良県営建設工事にも選定されている。とはいえ、公共工事は年々減少傾向にあるため、近年は民間の建築物の設計・施工にも注力している。工場＝3K(きつい・汚い・危険)から脱却したデザイン性の高い快適な工場、それが2017年にグッドデザイン賞を受賞した同社の工場建設のトータルサービスブランド「Factoria(ファクトリア)」だ。生産設備や動線計画などのハード面ではIoTを活用した、省エネや太陽光発電を提案し、働く社員のモチベーションアップにつながるデザイン提案を意識している。

取締役 管理本部長 兼 経営企画室長 関口 浩祥氏は、「我が社の強みは、長



盛岡本社1Fのワークスペース兼フリースペース。取引先やお客様との打ち合わせにも使われる明るい空間が広がる

年の建築・環境建設事業で培った経験と、技術に裏付けされた提案力、そして決断スピードの早さです。当社も以前は、短工期と低コストを工場建設の強みとしていましたが、それだけでは果てしない競争に巻き込まれてしまうだけです。そこで、『Factoria』を立ち上げ、女性の従業員も働きやすい工場づくり、というコンセプトで他社との差別化を図っています」と説明する。

ワークフローを利用して 申請・承認業務の効率化を促進

ITを活用した業務改善にも継続的に取り組む同社は、2007年にOSKの基幹業務システム『SMILE α 会計／給与』を導入、2013年には『SMILE BS

2nd Edition 会計／人事給与』にバージョンアップしている。さらに、2017年には『eValue NS 2nd Edition(以下、eValue NS2) 総合』を導入して、紙ベースで行っていた申請・承認業務のデジタル化に着手した。管理本部 経理部長の小原 聡士氏は、当時の状況を次のように振り返る。

「以前は、Excelで稟議(りんぎ)書や人事系の申請書類を作成していました。上長の承認を受けたそれらの書類を各拠点から盛岡本社に郵送して、最終的な決裁を行っていたので、多くの時間と手間がかかっていました。それが、『eValue NS2 ワークフロー』の導入で、作業効率は格段にアップしました。社内の意思決定もスピー

取締役
管理本部長 兼
経営企画室長
関口 浩祥氏

「当社の財産は人です。ここで働きたいと思う会社にすべく、ITを活用して業務の効率化を進めています。」



管理本部
統括部長 兼 総務部長

石川 恵司氏

「『eValue V Air ドキュメント管理』の版管理機能は本当に便利です。データコンバートのタイミングで旧版を移行しなかったら社員からクレームが出たほど、皆活用しています」



管理本部
経理部長

小原 聡士氏

「OSKのサポートセンターを全面的に信頼しています。混み具合が解消されれば言うことなしですが、何より回答が適切で、必要に応じてリモートで対応してくれるのもありがたいです」



ディーになり、お客様の要望に迅速に対応できるようになったのです。」

その後、サーバーの入れ替えを検討する中で、クラウド型のシステムに注目したのは、サーバーの運用管理が不要なことが大きな理由であった。2022年12月～2023年1月にかけて、クラウド版の『SMILE V Air 人事給与』と『eValue V Air 総合』へバージョンアップを行い、インターネットに接続できれば、安全かつ迅速に申請・承認業務などが行える環境を整備した。

「他社からも同様の提案はありましたが、『eValue NS2 総合』の使い勝手がとても良かったので、他社製品に入れ替えることは考えませんでした。特にワークフローは、承認ルートを細かく設定できるなど、この柔軟な対応は他社製品では実現できないことで、利便性が非常に高いと感じています」(小原氏)

同タイミングで、『タイムスタンプオプション』も追加導入して、電子帳簿保存法に対応させた。スキャナーでPDF化した証憑(しょうひょう)や、電子取引データに対してタイムスタンプの付与を行っている。

『eValue V Air』移行によってさらに作業効率向上

『eValue V Air』導入のタイミングで前任者の退職により急遽担当を引き継いだ管理本部 総務部の大下 真人氏は、当時を次のように振り返る。

「引き継ぎ最初の作業はデータ移行でしたが、不安もありました。しかし、『eValue』は初めて利用するシステムにもかかわらず直感的に理解できるインターフェースや仕組みだったので、データの移行作業を進めていく中でアクセス権限の設定なども覚えて、問題なく処理できました。細かな承認ルートの設定などは、OSKのサポートセンターに問い合わせ、確認しながら進めましたが、リモート操作でわかりやすく教えてくれるので、とても助かりました」



『SMILE V Air 人事給与』では、給与管理はもちろん、今後は人事関連の情報も一元管理し、さらなる業務効率化を図る方針だ

承認ルートが柔軟に設定できることは、同社にとって重要なポイントといえる。

「当社は、単純なピラミッド型の組織ではなく、縦と横の組織を組み合わせたマトリクス型の組織構造のため、ルート設定が難しいという面があります。役員から担当部署以外の申請内容を確認したいと要望されるケースも多々ありますが、ワークフローの同報機能を活用して、申請内容を共有するなど臨機応変に対応できるので非常に便利です」(小原氏)

『eValue V Air』は2023年5月から本稼働し、ほぼ全社員が日常業務で活用している。システムはモバイルでも利用可能ではあるが、現時点では、個人情報保護の観点からスマートフォンの利用は原則禁止としている。今後、社内のセキュリティポリシーを明確にしたうえで、スマートフォンの利用も前向きに検討していく考えだ。

主に社内の規定類や事業計画書、ISO関連文書などを保存している『eValue V Air ドキュメント管理』も有効に活用している。ワークフローで承認された申請書類もPDFで自動的に保存されるので、運用管理がとても楽だという。

管理本部 統括部長 兼 総務部長の石川 恵司氏は、その導入効果を次のように実感している。「社内の就業規定などを変更したときに版管理がきちんと行えるので、とても重宝しています。以前は、最新版の文書がどれかわからなくなるケースがありましたが、そうした問題が解消されて満足度は非常に高いです」

『eValue V Air コミュニケーション』の掲示板には、社員向けの通達事項に加え、約30名のリーダーメッセージを毎月1回掲載している。この同社独自の取り組みは、すべての役員や部門長、プロジェクトリーダー

管理本部
総務部

大下 真人氏

「『eValue V Air』には、多種多様な機能がありますが、設定や操作方法はわかりやすいです。システムに触れていく中で直感的に活用できるので、とても使いやすいです」



総務部
総務課

白 蘭氏

「今後『SMILE V Air 人事給与』で資格情報などの一元管理ができるようになれば、手当の計算含め、さらに利便性が向上しますね。期待しています」



がさまざまな情報を発信し、社内で共有することでコミュニケーションを深めている。

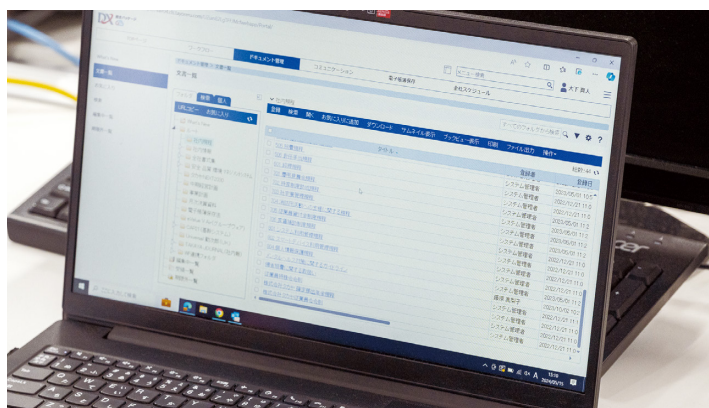
「特に小原さんは、音楽などの趣味の話を交えた面白いメッセージを毎回掲載してくれるので好評です。読むとすごく元気になれるので、皆楽しみにしています」と笑顔で語るのは、総務部 総務課の白 蘭氏だ。

給与業務の効率化から 人事情報の有効活用へ

『SMILE V Air 人事給与』については、コンバートツールを利用することで、スムーズにデータ移行が行えた。運用を任されている白氏は、「私は、『SMILE BS2 人事給与』の時に前任者から引き継ぎました。設定等、どのような機能があるのか、まだまだ手探りな部分もありますが、給与管理の運用を中心に、徐々に活用範囲を広げているところです」と言う。

『SMILE V Air 人事給与』は、勤怠管理システム『Universal 勤次郎』と連携して運用されている。従業員はWeb上で出退勤の入力を行い、その勤怠データは自動的に反映される。また、給与明細書は『Web給金帳』を利用してメール、Web配信している。これらの外部システムを利用して、給与業務の負荷を軽減しているのだ。

いまだに人事情報の管理はExcel頼りではあるが、今後の人材活用を考えて、



『eValue V Air』ドキュメント管理を規定類などの共有に使用する

『SMILE V Air 人事給与』で一元管理していくつもりだという。例えば、公共工事の入札や経営事項審査で提出が求められる作業員の資格情報を、工事の内容に応じて抽出したものを提供できる仕組み作り、そんな利用を考えている。また、現場が変わるごとに変わる通勤手当の管理をうまくシステム化できないか、など、まだまだ課題は残っている。

いかに快適な業務環境を作り出せるか、今後もシステムを活用して、さらなる業務改善を図っていく考えだ。



株式会社タカヤのホームページ

<https://takaya-net.jp/>

お問い合わせ